

ニジェール支所便り

2月号

【編集長】松本支所長 【編集担当】保久企画調査員

Tel: (227) 2073 5569 Fax: (227) 2073 2985 E-mail: ni_oso_rep@jica.go.jp

VRACSの小村専門家(業務調整)の交代の方の自己紹介

「サヘル地域における貯水池の有効活用と自律的コミュニティ開発プロジェクト」に、業務調整/農業普及補助として着任しました町慶彦と申します。私は青年海外協力隊でブルキナファソに植林隊員として配属されて以来、NPO 法人緑のサヘルでのブルキナファソ調整員、大学院でのブルキナファソ農村における普及研究、JICA ブルキナファソ国市場志向型農産品振興プロジェクトと、ブルキナファソ一筋で活動や研究に約 10 年携わってきました。ブルキナファソにいた時、ニジェールというと隣の国とはいえ「暑い」「砂漠」「貧しい」といった、ブルキナファソよりも過酷な環境である印象を持っていました。また、ニジェールからブルキナファソに来た協力隊員も「ブルキナはお店でいろんな物が買えるし、おいしいレストランもたくさんあり、すごく発展している。」と言っており、ブルキナファソでも世界的に発展が遅れているのに、それ以上に遅れているニジェールはどんな国なのか全く想像ができませんでした。しかし、本プロジェクトで初めてニジェールに来てみると、思っていた以上に街は活気にあふれ、人々もまじめで明るく、とても好い印象を受けました。また、マーケットや商店、屋台等でもブルキナでは見かけないものが多くあり、興味をひかれてお店をじっと眺めてしまいます。ただ、私は今まで主に農村をフィールドとしていたため、農村の生活にとっても興味があったのですが、近年の治安の悪化によって行けないことがとても残念です。ニジェールの治安がいち早く良くなることを祈っております。

最後に、私は今までブルキナファソに長く携わってきましたが、本プロジェクトを機に、ニジェールの人々の生活の向上にも貢献できるよう、励んでいきたいと思っております。(町専門家)

プロジェクト・専門家等の活動の進捗状況紹介

■■■サヘル地域における貯水池の有効活用と自律的コミュニティ開発プロジェクト(VRACS)■■■

<http://www.jica.go.jp/project/niger/001/index.html>

1月13日に仲田(総括/農村開発)と町(業務調整/農業普及補助)がニアメ入りし、2015年の業務が始まりました。町は、これまで(業務調整/農業普及補助)を担当していた小村の後任で、ニジェールは初めてです。

本来であれば、この2月末を持って本プロジェクトは終了する予定でしたが、昨年10月に実施された終了時評価の結果、10ヶ月の延長が提言されました。現在、修正R/Dの締結準備が進められているところです。締結されれば、本プロジェクトは今年の末まで継続実施されることとなります。従いまして、終了に向けた業務に変わり、継続に向けた業務が今回業務の中心となります。即ち、継続期間に実施する活動内容及びその

実施に関わる体制の具体的な確定を行います。なお、終了時評価の結果は以下の通りでした。

- 1)妥当性 : 高い
- 2)有効性 : 中程度
- 3)効率性 : 中程度
- 4)インパクト : 高い
- 5)自立発展性 : 中程度

また、延長期間に特に重点を置いて実施するのは、①貯水池利用者組合の機能化、②FFS をもう1クール実施することによる普及員の能力強化、③プロジェクト成果の分析/活動のモニタリング、④農業省の FFS 実施体制強化及び⑤マニュアルの公式化プロセスのフォローとなっております。(仲田総括)

■■みんなの学校:住民参加を通じた教育開発プロジェクト(EPT III)■■■

1月のみんなの学校プロジェクトは、11月～12月にかけて取り組んだ、『住民参加型教育開発モデル』における関係者能力強化研修が実を結び、現場各地での活動が動き出しました。

住民参加を通じた教育の質の改善活動モデル開発のための『学校運営委員会への補助金供与モデルと質の改善活動ミニマムパッケージ』の“融合”パイロット活動においては、今年度対象全39校にて住民支援の補習時間をつかった「算数ドリル活動」が開始しました。ドリル活動のファシリテーターを務める教員・住民ボランティアは、好奇心一杯で取り組む児童たちに囲まれながら、初めての活動に試行錯誤をしつつ、COGESメンバー・保護者・住民とともに、「児童の基礎学力向上」という目標達成へ向け一丸となって取り組んでいます。



写真上：ドリル活動の様子。ドリルに取り組む児童と住民ファシリテーター

そして、住民参画型の学校運営を中学校へも普及するために取り組む『機能する中学校 COGES(学校委員会)モデル』パイロット活動においては、1月上旬に対象中学校への機能する COGES 設立研修(選挙研修)を実施しました。多くの中学校では名目上 COGES が存在するとされてきましたが、実態を伴わない場合がほとんどであったことから、研修では多くの参加者から今回の取り組みへの期待が示されました。その結果、1月中旬から下旬にかけて各地にて、COGES メンバー選出にかかる選挙集会が実施されています。住民選出のメンバーによる COGES 設置後は、2月～3月にかけて COGES メンバーに対する学校活動計画策定・簡易財務研修を実施し、中学校 COGES の学校活動計画策定を経た上で、教育の質の改善へ向けた本格的な COGES 活動が開始されます。

来月2月には、上記活動に加え、地域教育開発へ向けた地域行政とコミュニティの連携による『州教育フォーラムモデル』開発パイロット活動にかかる第2回タウア州教育フォーラムを実施する予定です。

(影山専門家)